



<写真・図表等掲載欄>



(写真1) 2年生地域学の発表



(写真2) PR動画発表会



(写真3) 海鮮パフェ試作発表



(写真4) 商品開発防災食



(写真5) 林業フェス参加



(写真6) 商業部



(写真7) 商業部



(写真8) 企業との打合せ

(特記すべき取り組みと成果) 【地域企業・他団体との協働による地域の魅力発信】

3年普通科(地域創造系)の4人が南三陸FSC®親善大使として任命され、3年「地域探究学」において、地元の南三陸森林組合協議会、WWF ジャパン(公益財団法人世界自然保護基金ジャパン)と連携し、南三陸町内の森林林業やFSC®認証などの国際認証の学習を行った。そのなかで「環境問題」や「生物多様性」等は、他人事ではなく身近にある問題であることを認識し、その認知度に課題があると考え、楽曲(ラップ)とミュージックビデオを制作した。ミュージックビデオはFSC®認証林内で撮影を行い、森林の魅力がより伝わるよう工夫して制作した。その広報活動の一環として、12月に「ミュージックビデオ完成披露試写会」を実施し、1年間のアンバサダーとしての活動とミュージックビデオに込めた思いなどを生徒自身が自分の言葉でしっかりと発表することができた。また、試写会には多くのマスコミに参加していただき、情報を発信することができた。今後は、動画を活用した広報活動にも実践していく予定である。探究活動の過程を重視しながら、地元企業や他団体の大人と連携し深い学びを実践できたことが成果である。協力企業・団体には深く感謝申し上げたい。引き続き、南三陸町の特徴を生かした学びの実現に向けて学校設定科目「地域学」「地域探究学」の学習内容をブラッシュアップし、魅力的な学習内容にしていきたい。





<写真・図表等掲載欄>



スナック経営（地域密着型ビジネスモデル）講演会



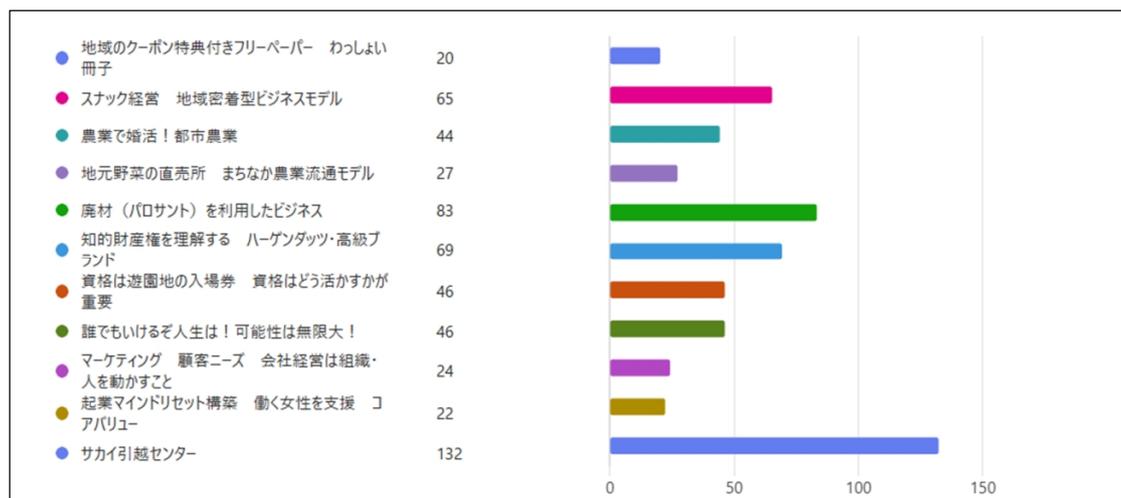
廃材（パロサント）を利用したビジネス 講演会



知的財産権を理解する 講演会



アンケート：ビジネスをおこなう上で、どんなスキルが必要だと思いますか。（18%）の生徒が発想力と回答



アンケート：視聴してよかったと思う講演はどれですか。※複数回答（サカイ引越センター講演直後時実施）

学校設定科目 \*1「ビジネスアイデア」

\*1「ビジネスアイデア」：東京都教育委員会が、2年次に、企業などに関する課題解決学習を通して、マーケティングに関する専門的な知識と技術を習得させ、ビジネスについて創造的に考える能力と態度を育てることをねらいとした学校設定科目「ビジネスビジネス」を設置している。

具体的な計画

- ・タイトル：「発想を学んでワークショップで実践」
- ・取組詳細・狙い：「会社経営等の視点から商品・サービスについてアイデアを学ぶ」  
「高校生ならではの豊かな発想や着眼点を養う」
- ・期待する成果：人々の生活や世の中の仕組みの改善、地域・社会に貢献できるオリジナルでアイデアに満ちたプランについて主体的に取り組むことで、実際のビジネス活動を体験する機会の拡大を図ることができる。また、**企業や商店街等との連携**をすることで地域貢献のおよび地域活性化を図ることができる。



立川法人会との連携



年間の取組のうち、最も重視した取組又は成果のあった取組等について	
取組番号	⑦淀翔モール10周年オリジナル商品を考える・⑪第10回淀翔モールの開催
成果内容	10周年の淀翔モールを記念して、商品開発を行った。大阪工業大学知財の財産学部の教授より「知的財産権の観点からみる商品開発とは？」という特別講義を行い、アイデアを権利として保護する意義や、他社の知的財産権を侵害しているかどうかを探究する知識を身につけた。企業と連携し、3種類のオリジナル商品が完成し、全国産業教育フェア栃木県大会・第10回淀翔モールにて販売活動を行うことができた。そのうちの1つ「美味しすぎて備蓄できない備蓄パン」に関しては、12月東京 SHIBUYA QWS で行われた中高生ビジネスアディアコンテストにてオーディエンス賞・最優秀賞を受賞することができた。
生徒・学生に見られた変化	オリジナル商品を考える過程で、知財についての知識をより深く理解することができた。また、今までは机上の空論であったビジネスに関する学びを実体験することで、より自分ごととして捉えることができ、興味・関心の向上が見られた。さらに、商品を販売する際やプレゼンテーションを行う際、スライド・POP・ブラックボード・チラシ作成などでも知財マインドをもって作成していた。
その根拠	・授業の事前アンケートの結果、知的財産権の内容について興味関心があるという回答は、15%であったのに対し、淀翔モールの開催後のアンケートでは、40%へ向上した。 ・「アイデアを発想することや商品開発について面白かった」と生徒の感想文で半数以上、確認することができた。
今後の課題	・すべて商業の科目で行っているため、商業の教員のみでの活動にとどまっている。教科の枠にとらわれず、総合的な探究の時間などを活用し、学校全体で取り組めるようにしたい。さらに、知財教育の指導力の向上、後継者づくりも力を入れていきたい。また、事前・事後のアンケートが各学年で不完全であったため、来年度以降の改善点としたい。
課題への対応	知財教育の公開授業を実施するなど、商業科以外の先生方にも知財教育について興味関心をもってもらおう。 若手の先生方に先進校への視察参加を促すなど、知財教育の指導力向上、後継者づくりにも力を入れる。 事前・事後アンケートを作成し、すべての授業で実施してもらおう組織づくりを行う。

本資料内の写真、イラスト、引用文献等の承諾が必要なものにつきましては、権利者の承諾を得ていることを申し添えます。

本報告書の内容は、各校での知財学習の取組全体を記載しているものであり、本事業の活動経費支援を利用していない取組を含む場合があります。

### <写真・図表等掲載欄>



全国産業教育フェア栃木県大会での販売



淀翔モールにてオリジナル商品の販売



オリジナルマスコットの着ぐるみを作成



美味しすぎて備蓄できない5年保存パン完成



小学生向けワークショップの様子

### 特記すべき取り組みと成果「アントレプレナーシップ教育の実践～AKINDO SPARKLE 株式会社～」

令和6年2月2日に高校生が運営するホンモノの株式会社「AKINDO SPARKLE 株式会社」を登記した。この株式会社の特徴は、本校淀商業高等学校だけでなく、大阪府立住吉商業高等学校、工芸高等学校、東淀工業高等学校と連携し運営している。この度、AKINDO SPARKLE 株式会社のオリジナルロゴの作成、オリジナル商品の開発を成功させることができた。

〔生徒の感想〕リアルな体験をすることで、本当に成長できたと思います。実際に会社を運営するためには、信用と信頼が大事で、知的財産権はとても重要だと知ることができました。こんな経験を高校生の中にできて本当に良かったです。



<写真・図表等掲載欄>

		
写真1 専門家を招いてキャラクタービジネスについて学ぶ	写真2 講演会 商標登録出願に伴う商標権侵害について	写真3 キャラクターを使用した販売促進を考える
		
写真4 新商品開発	写真5 水耕栽培を学ぶ	写真6 キャラクター

## 株式会社NAGAZON

本校は兵庫県神戸市長田区にある定時制商業高等学校です。2022年2月に生徒が中心となり株式会社を設立しました。その名も株式会社NAGAZON（ナガゾン）。本事業の支援を受ける2年目は①オリジナルキャラクター作成とキャラクタービジネスの実践②自動水やり装置と水耕栽培を利用した自立型農園の開発③産業財産権の講義と商標登録④商品開発に取り組みました。年間を通して22項目にわたって生徒の成長を評価しており、今年度は4月から10月までの期間で情報理解活用力、自主性、チームワークが大きく伸びています。



	4月	9月	増減
表現力	2.78	2.87	0.09
発表力	2.86	2.98	0.12
傾聴力	3.75	3.83	0.08
情報理解活用力	2.69	2.98	0.29
ICT活用力	2.85	3.01	0.16
創造力	2.93	3.03	0.1
自主性	3.21	3.55	0.34
継続力	3.45	3.6	0.15
チームワーク	2.8	3.09	0.29
リーダーシップ	1.94	2.07	0.13
責任感	3.27	3.45	0.18
計画遂行力	2.53	2.83	0.3
リスクテイク	2.95	3.05	0.1
キャリア設計力	2.7	2.72	0.02
課題発見力	2.74	2.78	0.04
課題解決力	2.64	2.77	0.13
メタ認知	3.14	3.31	0.17
柔軟性	3.14	3.13	-0.01
モラル&マナー	3.52	3.5	-0.02
対外関係調整力	2.91	2.95	0.04
地域貢献意識	2.52	2.6	0.08
グローバルな視野	2.48	2.76	0.28

5:とても力がつきた4:力がつきた3:どちらでもない2:あまり力がつかなかった1:全く力がなかった